

# 令和7年度第8回千曲市教育委員会定例会会議録

## 1 日 時

令和7年11月26日（水）午前9時から午前10時10分まで

## 2 場 所

千曲市役所 302会議室

## 3 会議日程

- 1 開会
- 2 教育長あいさつ
- 3 報告事項
- 4 その他
- 5 閉会

## 4 議 題

### ○議案

- 議案第17号 令和7年度教育委員会事務の点検及び評価報告書（令和6年度実績）  
議案第18号 令和7年度千曲市一般会計（第3号補正）教育委員会関係予算について

### ○報告事項

- 報告第31号 教育長、部・課長報告について  
報告第32号 行事の共催・後援について  
報告第33号 11月の各課の行事予定について

## 5 その他

- (1) 次回定例会の開催について
- (2) その他

## 6 出席者

### ○委 員

小松信美教育長  
中村洋一職務代理者 松田祐子委員 新海敦子委員 吉味淳委員 若林直美委員

### ○教育委員会担当部局

吉池こども・教育部長、山崎こども未来担当部長（こども未来課長事務取扱い）、小林教育総務課長、湯原生涯学習課長、久保第一学校給食センター所長、松峯第二学校給食センター所長、吉迫人権・男女共同参画課長、相沢保育課長、若林主幹兼総務係長、北沢総務係主査

1 開会 こども・教育部長

2 教育長あいさつ 教育長

### 3 報告事項

#### 議案第17号

#### 令和7年度教育委員会事務の点検及び評価報告書（令和6年度実績）

－資料に基づき説明－教育総務課長説明

委員

地域クラブ活動体制整備事業の意見・提言で「⑤元の方向へ戻す形で地域移行の指導者の在り方、教員の関わり方についてももう一度考え直してほしい。」という意見があるが、大きな意見である。複数の競技の外部指導者から、学校の先生の根本的な仕事に関わることはないか。外部指導者では千曲坂城クラブに加入している生徒への教育が行き届かない。教員ではないのでどこまで踏み込んでいいかわからない。（メンタル面等）千曲坂城クラブに移行後、中学校単位で出場できる競技はよいが、これまで中学校単位で出場できていたが、移行後、中学校のバランスから同じ中学校内で出場できる生徒（レギュラー）とできない生徒（補欠）が出てきており、中学校単位での指導ができない等の意見が寄せられている。今後の千曲坂城クラブの進め方については、生徒のメンタル面や公平感、学校体育で担っていた心の育成について注目してもらいたい。

教育総務課長

千曲坂城クラブの理念の一つに、「地域の子どもは、学校を含めた地域で育てる」があります。現在、78名の教員が指導者として登録していただいています。全てのクラブに教員がいるわけではありませんが、いじめ等の生徒間トラブルがあった際は、各学校の教員が指導対応していくこととなるので、基本的には外部指導者が対応することは無いと考えています。大会の出場のあり方については、中体連の全国大会がなくなった競技もあり、また、中体連では全国大会も将来的には廃止も視野に検討といったこともお聞きしているので、今後は、各競技の協会が主催して大会運営していくこととなるのではないかと思います。大会出場のあり方も含め、今後の専門部事務局会議等で検討していきたいと思えます。

教育長

事務局にも声が届いている。大きな課題である。地域移行は国の大転換である。これまでと同じ教員と生徒の関係は難しいが、「学校を含めた地域で育てる」というコンセプトであることから、先日の校長会で、先生には「全く関係ない。」という意識は持たないようお願いした。

委員

トラブルがあった場合、どの先生に相談すればよいか決まっているのか。

教育総務課長

専門部にいる指導者の教員や当事者の学校の先生、担任等で大丈夫です。

教育長

相談しやすい先生、保健の先生、担任、校長、教頭でもよいです。

委員

学校給食徴収事務事業に給食費の滞納について記載されているが、就学援助や生活保護になり得ない家庭のことか。

第一学校給食センター所長

就学援助対象者は給食費を公費で負担している。給食センターでは所得状況の把握ができないが、現在は過年度分の滞納はほとんどない状況である。

委員

学校運営委員を長年やられている方から学校側から後任を自分で探してくださいと言われた、という相談を受けました。色んな方に委員を経験してもらった方がよいかと思えます。

教育長

学校側で後任を探すべきであります。校長会で周知します。

委員

学校テストの点数が低いのが学年平均より上となっています。テストの問題が難しいのでしょうか。授業はしっかり受けているが平均点が上がらない。難しくしているのでしょうか。

教育長

あると思えます。全体で話し合っ問題を決めています。点数だけみると低いかもしれないが、やっている過程でどれだけ理解しているかを各学校考えながら、問題作成をしています。

委員

高校入試を考えれば、学校側では入試に対応するためレベルが高い問題にする気持

ちはあるかと思えます。ただし、あまりにもテストの点数が低いとテストの結果から何にも得られない。クラスの状況がわからない状態になる。それを避けるために標準得点（個人の成績がその集団の中でどのくらいの位置にいるかを示す点 例：平均点が60点で、個人得点が70点の場合、標準得点が1、50点の場合は、-1となる。）というのがあります。標準得点について、先生方に説明してもなかなか理解してもらえないので学力向上推進委員会で話題にして検討してもらえればと思えます。これから学力調査が全国的にコンピュータ化される。個々の実力をコンピュータ上で判断する形になると思われるので、測定の評価の検討を進めていってもらえればと思えます。

教育長

個々に応じた学力調査となると、これまで市報で公表していた千曲市の学力の様子の公表の仕方等を学力向上推進委員会等で、今後、検討しなければならないと思えます。

<承認>

**議案第18号**

**令和7年度千曲市一般会計（第3号補正）教育委員会関係予算について**

—資料に基づき説明—こども・教育部長説明

質疑なし<承認>

**報告第31号**

**教育長、部・課長報告について**

—資料に基づき説明—教育長分について教育長説明

委員

保育士養成学校への入学希望者が全国的に半分になっている。今後、保育士不足が懸念されるので、受け入れ側（保育園、幼稚園）から養成機関へ早めに必要な保育士数の情報提供をしていただければと思えます。

保育課長

就職ガイダンスに参加させていただき学生と話ができています。市の採用試験の情報を養成学校に伝え、受験者数も増えてきています。今後も市の保育についてPRしていきたい。

委員

幼保小合同研修会について、幼稚園、保育園から小学校に上がったからといって1段階、2段階上がるわけではないので研修会は引き続き実施していただきたい。相談支援関係者連絡会議について、義務教育終了までフォローアップをされていた子ども、移行支援はしたがその後フォローアップがないまま義務教育を終了した子ども、移行支援をせず就学し不適応となった子どもの経過を検証し、何が足りないか、不登校になっていく背景に支援、フォローアップが途切れていないか、検証しないと数値目標を目指しても無理ではないか。

保護者は先生が忙しいことは十分理解しているが、子どもの必要な情報が先生方と共有できないまま先送りされている現状がある。外してはいけないことが何なのかを整理して保護者と同じ土俵で支援を継続していってもらいたい。

教育長

しっかりと対応していきたい。

委員

子どもが心の教室やオレンジファム、SaSaLAND等に行った場合でも、先生方はよい形で関わりを継続していくということが大事である。

教育長

学校、担任は子どもの様子を見に行くことも大事である。

委員

先日視察した「SaSaLAND」のような施設が千曲市にもあればよいと思いました。

教育長

各学校、「SaSaLAND」と同じような対応ができるよう努めていきたい。

**報告第32号**

**行事の共催・後援について**

質問なし

**報告第33号**

**12月の各課の行事予定について**

質問なし

#### 4 その他

##### (1)【次回定例会の開催について】

—次回定例会日程（12/24）について—（係長説明）

## (2) その他

千曲坂城クラブだよりについて 教育総務課長

第4次千曲市人権とくらしに関する総合計画について 人権・男女共同参画課長

令和7年度版千曲市人権白書について 人権・男女共同参画課長

令和8年成人式について 生涯学習課長

## 5 閉会

こども・教育部長